

施工説明書

高気密型床下点検口

断熱型

この度は本製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
正しく取り付けていただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。
施工説明書は工事終了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

	この記号は、禁止の行為を示しています。		この記号は必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
---	---------------------	---	-------------------------------

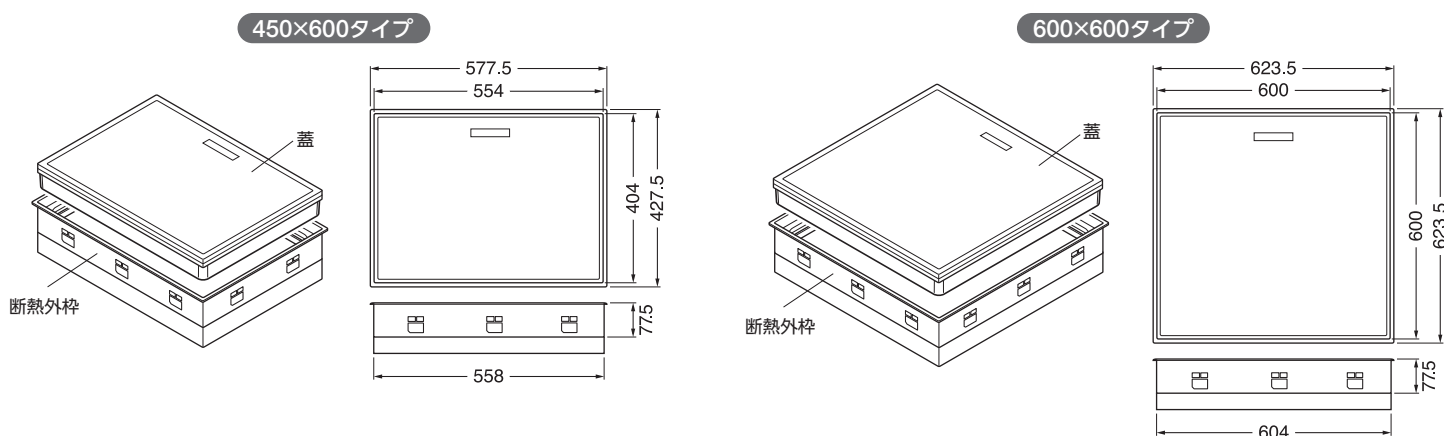
⚠ 注意

 禁止	樹脂製ですので、火気の使用や溶剤の使用に注意してください。
	樹脂製ですので、熱源(投光器など)のそばに置かないでください。
	保管は直射日光の当たる場所や高温になる場所を避けてください。変形・破損の原因となります。
 指示に従う	収納庫は、収納物の重量によって変形する恐れがありますので、ブロック・レンガ・モルタル(間にビニールシートを入れる)などで収納庫の底部を受けるか、別売品の床下収納庫用補強スチーのご使用をおすすめします。また、2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強スチー(別売)をご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。

種類	適用	品番
高気密型床下点検口 (断熱型)	450×600タイプ	SPF-R45S-UA1・SPF-R45C-UA1・SPF-R45F12-UA1・SPF-R45F15-UA1
	600×600タイプ	SPF-R60S-UA1・SPF-R60C-UA1・SPF-R60F12-UA1・SPF-R60F15-UA1
収納庫	450×600タイプ用	SPF-45S2
	600×600タイプ用	SPF-60S1・SPF-60S2・SPF-60S3

※品番:SPF-R45(60)S-UA1…シート貼り完成品／SPF-R45(60)C-UA1…フッショフロア合わせタイプ／SPF-R45(60)F12-UA1, SPF-R45(60)F15-UA1…フローリング合わせタイプ
※SPF-60S1には、断熱型に対応した床下収納庫用補強スチーはありません。

製品図



⚠ 注意：断熱外枠にセットしている断熱材およびテープは絶対に捨てないでください。緩衝材ではありません。
内蓋は収納庫を使用しない場合に断熱外枠へセットしてください。収納庫を使用する場合は不要です。

施工説明書 の見方

この施工説明書は高気密型床下点検口「断熱型」、および「収納庫」を掲載しています。
下記事項を基に施工寸法に誤りがないようご注意ください。

※〔 〕内の寸法は600×600タイプ

●シート貼り完成品は、3の蓋を組み立てる作業は必要ありません。

1 施工の前に

- ・気密住宅の場合は、防湿・気密層が切れないようにしてください。
- ・収納庫を使用する場合は、フロア面から土間まで以下の高さが必要です。

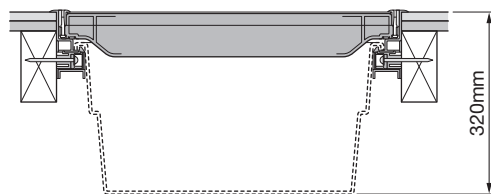
450×600タイプ→●収納庫浅型タイプ (SPF-45S2) 使用時は320mm以上必要

600×600タイプ→●収納庫薄型タイプ (SPF-60S1) 使用時は190mm以上必要

●収納庫浅型タイプ (SPF-60S2) 使用時は320mm以上必要

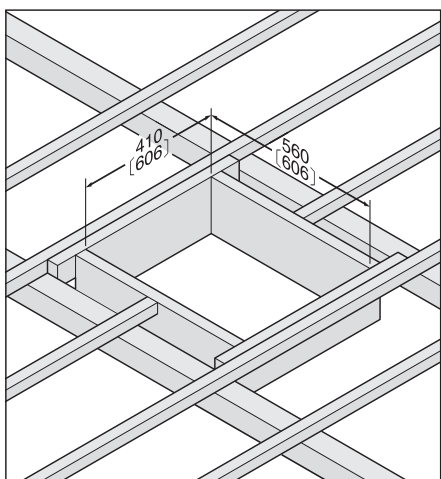
●収納庫深型タイプ (SPF-60S3) 使用時は480mm以上必要

※浅型タイプ納まり図



2 下地を作り、床下点検口の断熱外枠を取り付けます (根太、補強材、断熱外枠受の構成)

- 1** 450×600タイプは**410×560mm**
600×600タイプは**606×606mm**
の開口部が必要です。

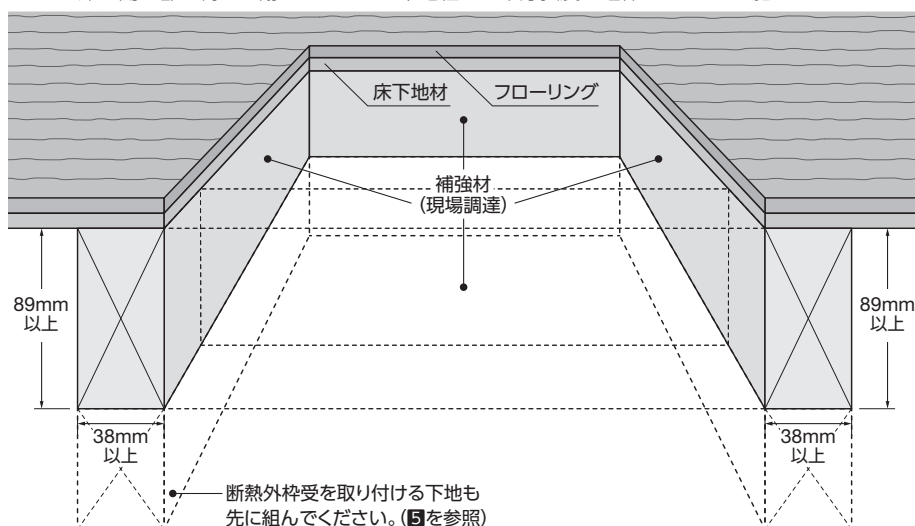


- 2** 幅38mm以上、高さ89mm以上の補強材で四方に下地を組みます。

※断熱外枠受を取り付ける下地も先に組んでください。(5を参照)

※補強材には乾燥材をご使用ください。

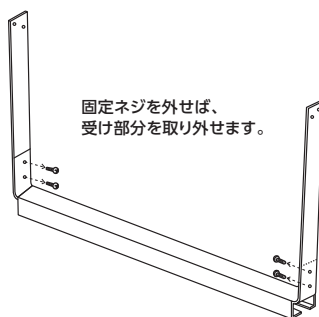
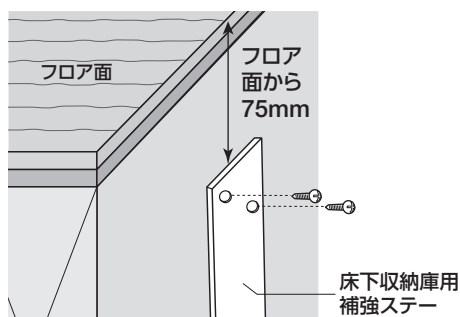
※床の開口部が荷重に耐えられるよう、下地組みは十分強度が確保できるように施工してください。



■床下収納庫用補強ステーを別売でご用意しています。

床下収納庫用補強ステーをご使用の場合は**2**完了後、ステーの上端がフロア面から75mmの位置になるように付属のネジ(φ4×16)で補強材(現場調達)に取り付けてください。

※2階に収納庫をご使用の場合は、床下収納庫用補強ステー(別売)をご使用いただくか、別途安全面を考慮した構造としてください。



対応収納庫	品番
SPF-45S2	BU-SPF-BL-HS45S2
SPF-60S1	—
SPF-60S2	BU-SPF-BL-HS60S2
SPF-60S3	BU-SPF-BL-HS60S3

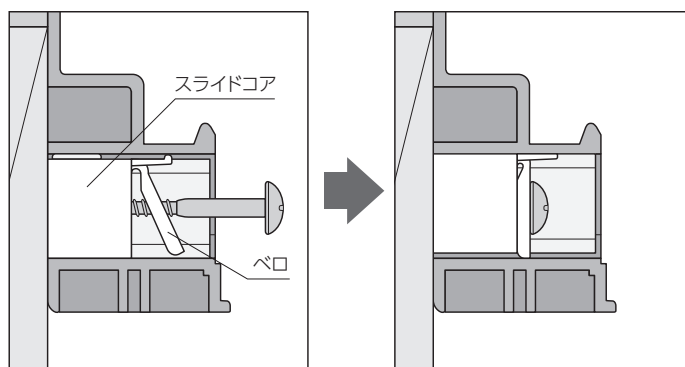
収納庫の注意点



下表の重さ以上ものを入れないでください。また、一点に集中して荷重がかかると変形の恐れがあります。

SPF-45S2	SPF-60S1	SPF-60S2	SPF-60S3
70kgまで			

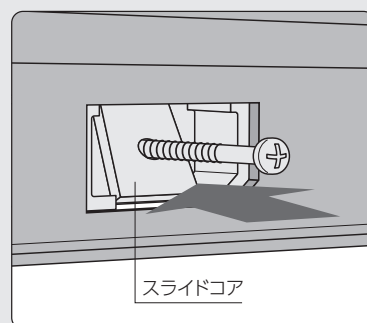
3 **2**に断熱外枠を取り付けます。断熱外枠側面に同梱しているスライドコアを**奥まで**差し込み、木ネジで補強材(現場調達)に取り付けます。



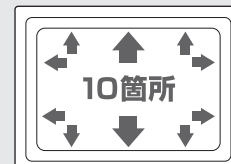
木ネジは必ず
水平に入れてください。

ベロがまっすぐ立つまで
木ネジを留め付けてください。

スライドコアは、中央部分から留め付けてください。
全てのスライドコアがしっかりと留め付けられていることを確認してください。



●450×600タイプ



●600×600タイプ



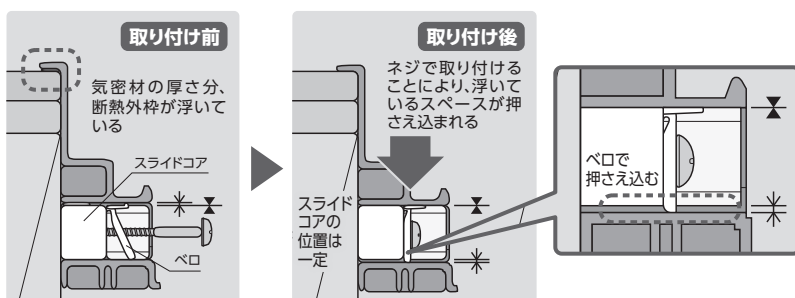
■スライドコアの取り付けについてのお願い

下記の図の通り、断熱外枠をフロア面に置きフリーハンドでスライドコアを取り付けると(スライドコアは、あらかじめ断熱外枠の奥までしっかりセットしておいてください)スライドコアだけが補強材方向に動き、ベロが断熱外枠の気密材の厚さ分押さえ込みフロア面とピッタリ納まります。**スライドコアは、断熱外枠に手を触れずフリーハンドで取り付けて頂きますよう、お願いいたします。**

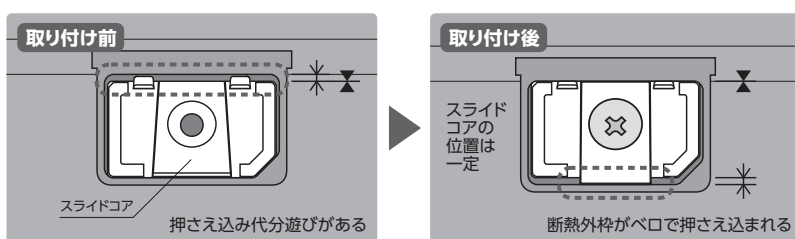
※スライドコアは中央部分から留め付けてください。

※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、断熱外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

補強材への取り付け方法
[側面]



補強材への取り付け方法
[正面]

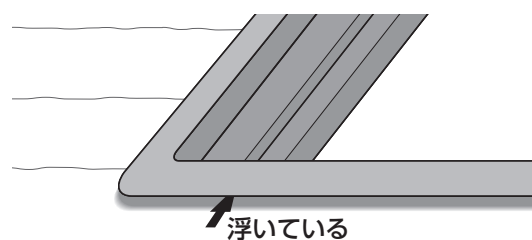
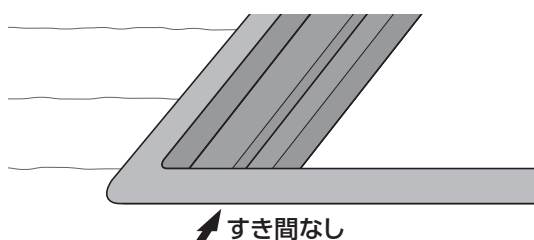


補強材がズレていても、スライドコアだけが動きますので、ピッタリと取り付けることが可能です。

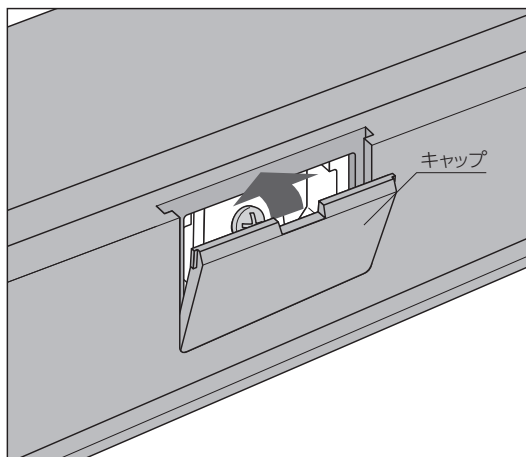


⚠注意

断熱外枠とフロア面にすき間がないことを必ず確認してください。すき間があると、断熱外枠が割れたり、気密性を損なう原因となります。



- 4** **3**で取り付けけた断熱外枠に、同梱していますキャップをセットしてください。

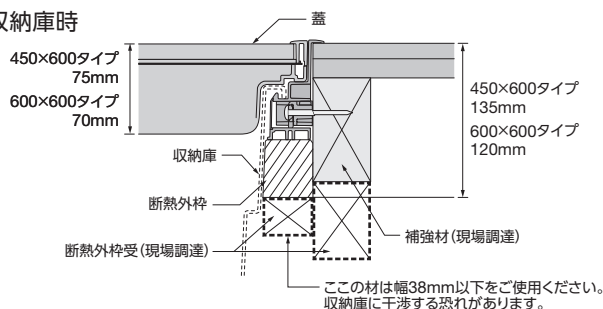


※各辺スライドコアの取付位置をずらしていますので、断熱外枠を回転させればスライドコアの取付位置が変わります。

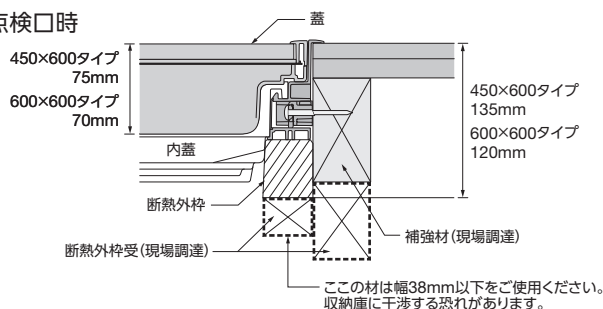
- 5** 断熱外枠の脱落防止のため、下図の標準納まり図のように、断熱外枠の下端に断熱外枠受(現場調達)を密着させた状態で、横の断熱外枠受(現場調達)にネジまたは釘で取り付けてください。

●標準納まり図

■収納庫時



■点検口時

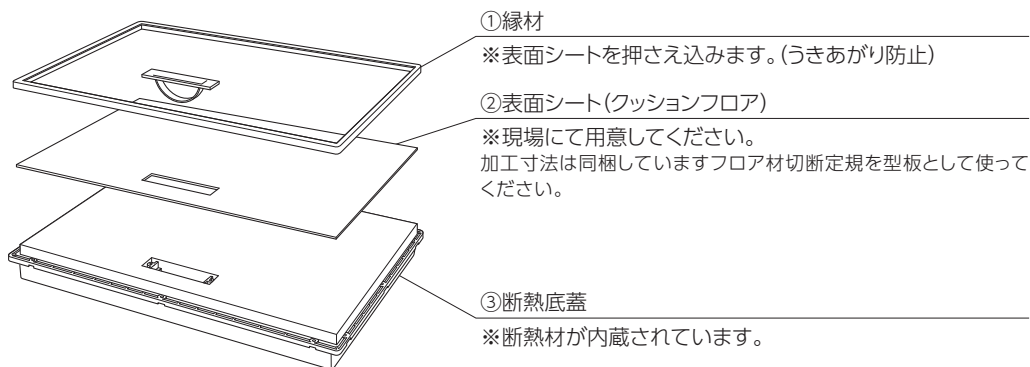


☒の断熱外枠受のサイズや補強の組み合わせに指定はございません。

3 点検口の蓋を組み立てます

※シート貼り完成品をお買い上げいただいた方は、完成品のため組み立ては完了しています。

クッションフロア合わせタイプ (SPF-R45〔60〕C-UA1)



クッションフロアを貼る際、以下の点にご注意ください。 ※接着剤は、ホルムアルデヒド対策の市販製品をご使用ください。

1.クッションフロアの選定

- 厚みは1.8～2.0mmとしてください。
- 貼り合わせ後はローラーなどで十分に圧着してください。

2.接着剤の選定

- 接着剤はウレタン系が適当です。アクリル系の両面テープの全面使用も可能ですが、ラテックス、水性エマルジョンは使用できません。
- 断熱底蓋はABS樹脂製品です。クッションフロア材との接着性は接着剤メーカーにお問い合わせの上ご使用ください。

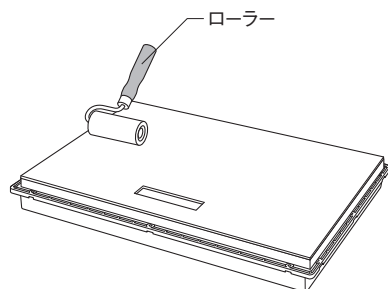
3.施工の注意点

- 接着剤を均一に塗布して貼り合わせた後ローラーで十分に圧着してください。
- 接着不良は後日ふくれ・剥がれなどが生じる原因となります。
- 有機溶剤を含む接着剤を使用する場合は、火気に注意して換気を心がけてください。多量に摂取すると健康を害することがあります。

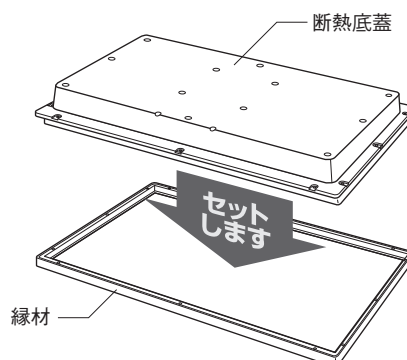
次の手順で組み立てていきます。

⚠ 注意：インパクトドライバーは使用しないでください。

A-1 断熱底蓋にクッションフロアを貼ります。貼り合わせ後はローラーなどで十分に圧着してください。



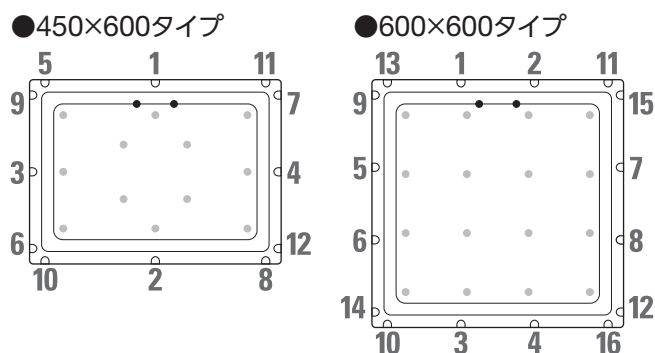
A-2 縁材に **A-1** をセットします。



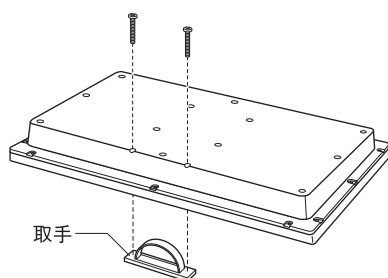
同梱のネジで留め付けていく際、次の点をご確認・ご注意ください。

- 手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。
- ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。
- 作業は必ず平らな面の上で行ってください。ガタツキを生ずる恐れがあります。

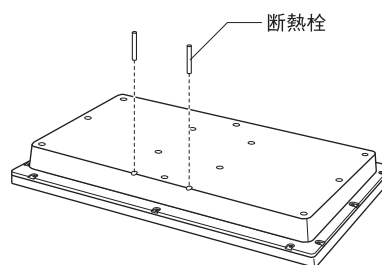
A-3 同梱の縁材用ネジ (4×20) で縁材と断熱底蓋を下図の順番で留め付けていきます。



A-4 取手を取り付けます。取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の小ネジ (M4×25) をドライバー(手回し)で留め付けます。

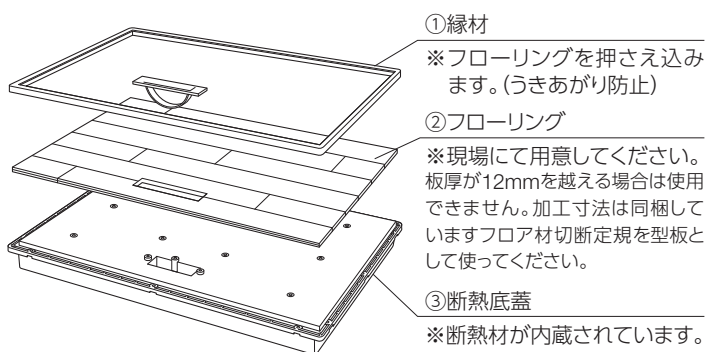


A-5 **A-4** のネジ穴に断熱栓をしっかりと押し込んで取り付けます。
※取手の2個のみ。



フローリング合わせタイプ (SPF-R45〔60〕F12-UA1)

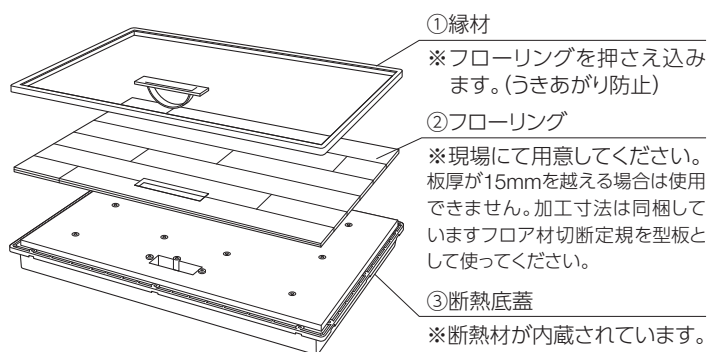
板厚12mm専用タイプ



※板厚12mmに対応します。
※フローリングは、F☆☆☆☆をご使用ください。

フローリング合わせタイプ (SPF-R45〔60〕F15-UA1)

板厚15mm専用タイプ



※板厚15mmに対応します。
※フローリングは、F☆☆☆☆をご使用ください。

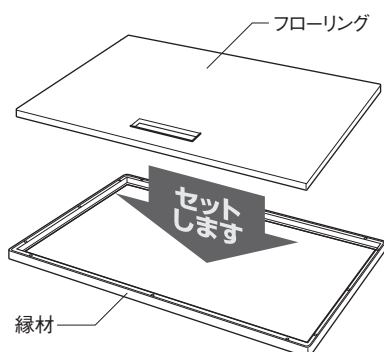
フローリング切断寸法

450×600タイプ: 382mm×532mm
600×600タイプ: 577.5mm×577.5mm

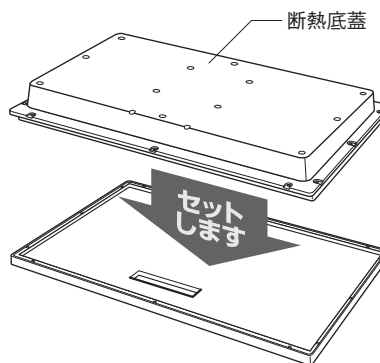
次の手順で組み立てていきます。

⚠ 注意: インパクトドライバーは使用しないでください。

B-1 縁材にフローリングをセットします。



B-2 B-1 に断熱底蓋をセットします。



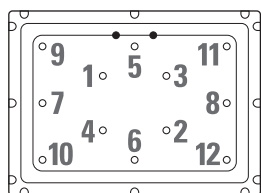
同梱のネジで留め付けていく際、次の点をご確認・ご注意ください。

- 手回し、またはトルクを小さくして電動ドライバーで留め付けてください。
- ネジを強く締めると、空回りして効かなくなったり、破損の原因となります。
- 作業は必ず平らな面の上で行ってください。ガタツキを生ずる恐れがあります。

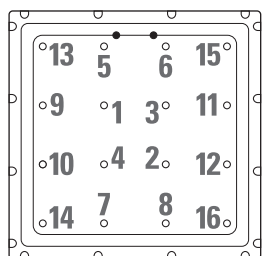
B-3 同梱の蓋組立用ネジ (4×55) で、下図の順番で留め付けます。

※光沢のあるフローリングは付属のワッシャーをご使用ください。フローリング面に突起が出る恐れがあります。

●450×600タイプ

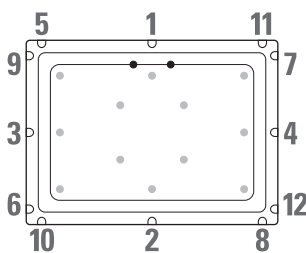


●600×600タイプ

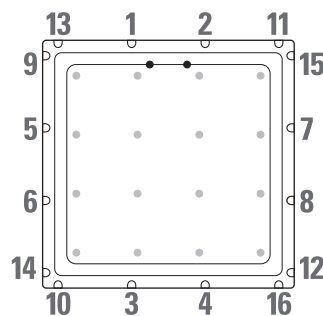


B-4 同梱の縁材用ネジ (4×20) で縁材と断熱底蓋を下図の順番で留め付けます。

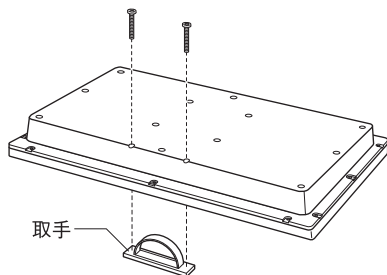
●450×600タイプ



●600×600タイプ

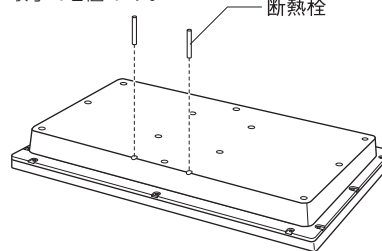


B-5 取手を取り付けます。取手の切り欠き部にはめ込み、裏から同梱の小ネジ (M4×25) をドライバー (手回し) で留め付けます。



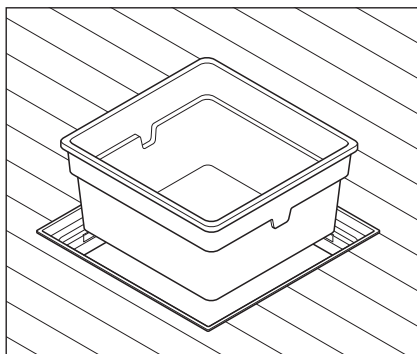
B-6 **B-5** のネジ穴に断熱栓をしっかりと押し込んで取り付けます。

※取手の2個のみ。

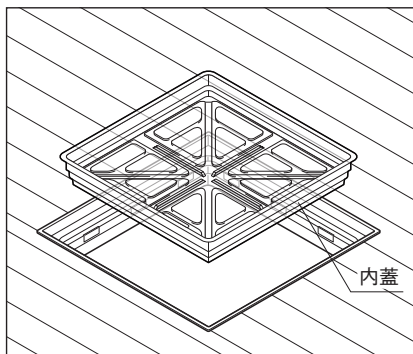


4 蓋を取り付けます

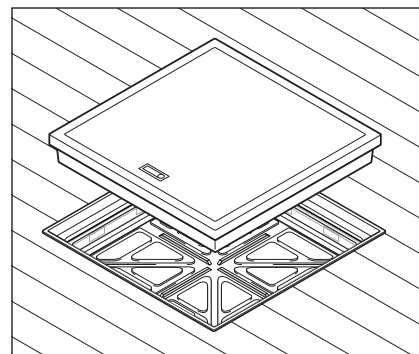
1-1 収納庫を使用する場合は、断熱外枠へセットしてください。付属の内蓋は不要です。



1-2 収納庫を使用しない場合は、付属の内蓋を断熱外枠へセットしてください。



2 蓋を断熱外枠へセットし、開閉に支障がないか、ガタツキがないかを確認してください。



5 施工後の確認

下記の項目について、施工後の確認をしてください。

チェック項目	チェック
スライドコアが全て取り付けられ、しっかりキャップがされていますか? 2 の 4	
断熱底蓋の取手を取り付けた後、断熱栓を取り付けましたか? 3 の A-5 B-6	
蓋の開閉はスムーズですか?	
組み立てた蓋や取手にガタツキはありませんか?	
断熱外枠がフロア面にすき間なく取り付けられていますか?	

Joto

本製品に関するお問い合わせは



ダイヤル【J】0120-106011

受付時間(土・日・祝を除く) 9:00~12:00/13:00~16:00

城東テクノホームページ



<https://www.joto.com>



Information

※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。
※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。